



清 泉

令和5年9月11日
昭島市立清泉中学校
校長 佐藤 晴美

昭島市立清泉中学校 〒196-0024 昭島市宮沢町1-9-1

電話042-541-0762 FAX042-541-6869 <http://www.city.akishima.ed.jp/~seisen/>

「信じる」とは

生徒たちの「おはようございます！」という大きく、爽やかなあいさつは、『学校』のエネルギーであり、喜ばしいものです。始業式では、この夏休み、大きな事故や怪我がなく、2学期をスタートできたことに感謝し、併せて生徒たちに『大人って何』という問いと『生徒発信』という課題を伝えました。

今年度の「緑の羽根募金」では、生徒会から新たな提案が出されました。それは「散歩や通勤中の地域の方々にも募金に協力してもらいたい」というものでした。そのために生徒会はポスターを作成し、自治会長さんに協力依頼をしました。9月4日(月)～6日(水)の3日間でしたが自分たちの予想していた状況とは異なりました。その時です。「どうしたら、うまく連携できるのか来年に向けて検討すればいいんだ！」と前向きな一言とともに、キラキラした笑顔がありました。どんな策が出てくるか、今から楽しみです。

今、清泉中では生徒会を中心にいろいろな新たな取組や改革が進められています。今まで自分たちが学んできたことや経験を生かし、メリット・デメリットも考えながら策を練り、企画が具現化できるよう試行錯誤をしています。その考えに賛同し、協働する仲間もいます。それが今の清泉中です。

どうしても「失敗」がないように、学校(大人)は行き過ぎた「転ばぬ先の杖」を与えたり、子どもを枠や型にはめたりしがちです。でも生徒はよく考えているのです。生徒の考えをじっくり聴く。経験者として助言はする。ダメなことはダメと伝える。そして何よりじっくり待つ。これが「信じる」ことなのかもしれません。私は待つことが一番苦手なので、特に意識していきます。

▼考えさせられました(インターネット上の情報から)▼

「ももが5こあります。3こもらうと、ぜんぶでなんこになりますか。」

インターネット上に掲載されていた児童のプリントには「✓(不正解)」となっていました。ううん～？

児童の解答 しき $5 - 3 = 2$ こたえ(2こ) ✓

先生の求めた回答 しき $5 + 3 = 8$ こたえ(8こ)

年齢に関わらず、人とのやり取りでは、このようなことは多いと思いませんか。伝えた側と受け取る側で違う世界を見ている。「✓」をつける前に、「なぜ」このような解答をしたのか考えていくことが必要だったと思いました。今回の例はテストですが、日常の会話でもSNS上のやり取りでも起こりうることです。

桃は「どこから」、「どこに」移動したのでしょうか？
そしてどこにある桃の数を答えるのでしょうか？この問題では分かりにくいですね。

【書籍紹介】私が夏休みに読んだ本から「頭のいい人が話す前に考えていること」(安達裕哉著 ダイアモンド社)の一節を紹介します。

中途採用の面接官をしていたときのこと、ある採用候補者の履歴書に「特技：お好み焼きを美味しく焼くこと」と書かれていました。面接で何気なくこの特技について尋ねると、その候補者は「👤お好み焼きは、蒸し料理なんですよ。」と答えました。お好み焼きは名前の通り、焼くものだと思っていたので、気になって、どうのことですか？と質問しました。「👤僕は大阪人なので、実家のお好み焼きの作り方があるのです。そしておそらく大阪人のほとんどがこうしていると思うのです。“自分の家のお好み焼きが一番美味しいと”ですが、ある日、ふと「おたふくソース」のHPに載っていたレシピの途中に「蓋をして4分間蒸す」と書いてあったのです。今まで、焼くだけで蒸してはいませんでした。実際やってみると、材料が同じなのにふわふわで美味しいんです。みなさんも、お好み焼きを蒸し料理だと思って作っててください。」私はこの発言に知性を感じました。そして、この発言だけが理由ではないものの、他の面接官からも“彼は思考力のある人”と認識され、採用に至りました。私が彼に知性を感じたのは、…(略)…自分とは違う意見を調べることができる(「客観視」の思考法)…(略)…再定義し、インパクトを残した(「言語化」の思考法)

「<ご協力をお願いします>」登下校の際の歩き方について地域からご連絡がありました。公道で広がって歩くことは他の方々の通行にご迷惑をおかけするだけではなく、生徒自身も交通事故にあう危険性があります。学校でも指導してまいります。ご家庭・地域でもお声がけをお願いします。